

令和元年度 行政評価表:教育総務課

【Plan】計画 / 【Do】実施																	【Check】評価 / 【Action】改善													
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)						事業評価の成果指標(目標・実績)						H30年度	R1年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)							
			指標名等		H30年度		R1年度		指標名等		H30年度		R1年度		決算額	予算額	決算額	成果向上	評価の理由	コスト削減	評価の理由	1次評価(担当者評価)		2次評価						
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	(千円)	(千円)	(千円)	余地はあるか	理由	余地はあるか	理由	事業評価	評価の理由	R3年度予算要求の方向性	所属長評価	
学校教育の推進	公立幼稚園運営交付金事業	公立幼稚園長の裁量による特色ある幼児教育を推進するとともに、幼稚園で発生する様々な課題に迅速に対応するため、黒川幼稚園に対し、公立幼稚園運営交付金を交付する。	交付金額	千円	115	115	100%	115	115	100%	特色ある教育活動の実施回数	回	5	5	100%	7	10	143%	115	115	115	高	公立幼稚園長の裁量により事業を展開できるため、予算の範囲内での事業の充実が可能である。	中	今後、黒川幼稚園の園児数が減少すれば、コストの削減はあり得る。	維持	子どもや地域の状況に応じた特色ある幼児教育を推進するため、事業を維持する。	公立幼稚園運営交付金交付要綱の改正により、交付金の比例配分の積算に用いる園児数について、定員から4月1日の園児数に変更となったため、交付金額は減額となると見込まれる。	維持	幼稚園教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を養う教育であり、公立幼稚園の特色ある教育を展開するためにも、幼稚園長の裁量により実施できるこの事業の意義は大きい。
学校教育の推進	小学校施設環境改善事業(エアコン設置)	普通教室及び特別支援教室にエアコンを設置する。	エアコンの設置教室数	室	163	0	0%	163	163	100%	普通教室のエアコン設置率	%	100	2	2%	100	100	100%	10,460	357,118	315,604	なし	すべての普通教室及び特別支援教室に設置しているため	なし	基準に準じた設計を行った上で、入札にて費用が決まるため、意図したコストの削減はできない。	完了	令和元年度に繰越した予算により、事業が完了したため。	令和元年度に完了したため、要求しない。	完了	H30年度の途中から取り組んだ事業であったため、H30年度内の完了はできなかったが、令和元年度9月末にエアコンの設置が全て完了した。
学校教育の推進	小学校施設環境改善事業(大川内小トイレ改修)	大川内小学校のトイレについて、男女の区分けがなされておらず、老朽化も進んでいるため、年度ごとに次の取組みを行い、男女を分けるとともに、トイレの環境を改善する。 平成30年度:実施設計 令和元年度:改修工事	年度毎の進捗率	%	100	100	100%	100	100	100%	事業全体の進捗率	%	10	10	100%	100	100	100%	2,106	18,589	18,555	なし	教育環境として必要な施設整備のみを行っているため	なし	基準に準じた設計を行った上で、入札にて費用が決まるため、意図したコストの削減はできない。	維持	下水道に接続できていない学校や、トイレの老朽化が進んだ学校があり、引き続き事業を進めていく必要があるため。	令和元年度に大川内小学校が完了したため、次に改修が必要な学校について、予算要求を行う。	維持	トイレの改修が望まれる学校が多いため、年次的に事業を継続していく必要がある。
学校教育の推進	中学校施設環境改善事業	普通教室及び特別支援教室にエアコンを設置する。	エアコンの設置教室数	室	72	0	0%	72	72	100%	普通教室のエアコン設置率	%	100	2	2%	100	100	100%	40,269	67,400	59,797	なし	すべての普通教室及び特別支援教室に設置しているため	なし	基準に準じた設計を行った上で、入札にて費用が決まるため、意図したコストの削減はできない。	完了	令和元年度に繰越した予算により、事業が完了したため。	令和元年度に完了したため、要求しない。	完了	H30年度の途中から取り組んだ事業であったため、H30年度内の完了はできなかったが、令和元年度5月末にエアコンの設置は全て完了した。
学校教育の推進	中学校建設事業	伊万里中学校は耐震化がなされておらず、老朽化も進んでいるため、年度ごとに主に次の取組みを行い、校舎を全面的に改築する。 平成29年度:基本設計 平成30年度:実施設計 令和元年度~令和4年度:校舎改築・屋根改修工事 令和5年度:剣道場・部室・外構工事	年度毎の進捗率	%	100	100	100%	100	100	100%	学校の耐震化率	%	91	91	100%	91	91	100%	40,380	200,620	200,619	なし	教育環境として必要な施設整備のみを行っているため	なし	基準に準じた設計を行った上で、入札にて費用が決まるため、意図したコストの削減はできない。	維持	学校の耐震化は最優先課題であるため、耐震化率が100%になるまで継続する必要がある。	継続費が組まれているため、これにより予算要求を行う。	維持	伊万里中学校は継続費として改修工事に取り組んでおり、今後も事業を継続していく。